

グループ(様式8)

平成26年 2月 25日

教育長様

代表者 校園名 大阪市立大池中学校  
校園長名 河野正一

印

(電話 6752-3451 FAX 6751-9581)

申請者 職名・名前 教諭 中川幸治 印  
校園名 大阪市立鶴橋中学校  
(電話 6731-6340 FAX 6731-2170)

### 平成25年度「がんばる先生支援」事業報告書

平成25年度「がんばる先生支援」について、次のとおり報告します。

#### 1 研究コース ( 基礎 ・ **今日的課題** ) 研究コース

※( )内はいずれかに○を記入してください。

2 研究テーマ 「目的意識を持って、自然や科学に対する総合的なものの見方や考え方を育む理科教育の推進」

サブテーマ「野外観察会や実験講習会等を通して、指導力の向上を図る。」

教師自らが観察や実験・実習の楽しさを実感し、専門的な知識・技能を身に付け、教材の開発や教科指導力の向上を図る。

#### 3 研究内容(概要)

・「全国中学校理科研究発表大会東京大会」に参加し、「言語活動の充実を図る実践」について発表を行った。(8月8日(木)~9日(金))

・理科教員の知識・理解におけるスキルアップを図るとともに、教員間の広がりある連携を支えることを目的として、「理科教員土曜塾」を実施した。

第1回「淀川・十三干潟での自然観察会」(7月6日(土))

第2回「八幡屋公園での自然観察会」(11月23日(土))

第3回「サントリー研究センターでの見学研修」(12月26日(木))

第4回「なんば地下街での化石探検」(1月18日(土))

・定期的に理科部専門委員研修会を実施した。

第1回「研究主題・活動計画等について」指導主事指導助言(5月29日(水)教育センター)

第2回「研修計画について」指導主事指導助言(6月28日(金)大池中学校)

第3回「デジタル教科書研修」(7月29日(月)内田洋行ユビキタス協創広場)

第4回「生徒理科研究発表会について」(9月19日(木)咲くやこの花中学校)

第5回「全市研究発表会について」(10月15日(火)大池中学校)

第6回「本年度のまとめと反省」(3月4日(火)大池中学校)

・「学力診断テスト」を作成、分析した。(7月30日(火)、8月23日(金)天王寺中学校)

・「教員野外研修会」を兵庫県立西はりま天文台公園で実施した。(8月19日(月)~20日(火))

・「生徒理科研究発表会」を実施した。(9月22日(日)咲くやこの花中学校)

- ・「大阪府発明・くふう展」に出展・協力した。(10月8日(火)ATCエイジレスセンター)
- ・「大阪府学生科学賞」に出展・協力した。(10月18日(金)大阪府教育センター)
- ・「全市研究発表会」(兼「がんばる先生支援事業」研究発表会)を実施した。  
(10月16日(水)大池中学校)
- ・「大阪市中学校総合文化祭」参加し、発表・出展した。
- ・「言語力の充実を図る授業づくり」研修会を実施した。(11月7日(木)淀中学校)
- ・「近畿中学校理科教育研究会大阪大会」に参加し、「言語力の充実を図る授業づくり」について発表した。(11月30日(土)大阪教育大学附属天王寺中学校)

#### 4 具体的な検証方法と明らかになった成果

##### (1)具体的な検証方法

アンケート調査等

##### (2)明らかになった成果

- ・専門委員会を定期的に開催し、研究主題に基づいて、指導法の研究、研究発表会や研修会の企画・立案、研究分野別分科会の実施、理科教育に関わる情報交換等が行えた。
- ・10月16日(水)実施の全市一斉研究発表会では、若手教員2名による1分野と2分野の公開授業、並びに「がんばる先生支援」に基づき実施した「理科教員土曜塾」「野外研修会」も成果と課題等の研究協議や生徒理科研究発表会・ブロック別研究発表会等の報告を行い、研修を深めることができた。
- ・9月22日(日)に咲くやこの花中学校にて生徒理科研究発表会を行った(研究発表9校19テーマ、展示発表26校197テーマ)。それぞれの発表について生徒たちが活発な質疑応答を行った。その内容を「わたしたちの結晶」にまとめた。優秀作品は、大阪市立中学校総合文化祭や大阪府学生科学賞に出展した。
- ・大阪市教育委員会との共催で「理科教員土曜塾」に取り組んだ。本研修会により、理科教員の知識・技能のスキルアップ、教員間の連携を支えることができた。本市教員や大学教授、民間研究者が講師となり充実した内容で構成できた。若手教員の参加が多く、また小中連携の一貫として小学校にも案内を出し、小学校の教員の参加も多数あった。講師や参加者同士の情報交換を行い、新たなネットワークが構築できた。(アンケート結果参照)
- ・「教員野外研修会」では、国内最大の望遠鏡「なゆた望遠鏡」で土星やM57などを観測できた。翌朝には植物観察もでき、教科指導の情報交換も行い、指導力向上につながった。

#### 5 研究発表の日程・場所

(日程) 平成25年10月16日(水) (場所) 大阪市立大池中学校

※今日的課題研究コースは必ず記入

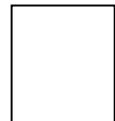
上記の内容を原則としてA4判2ページで作成し、平成26年2月28日までに大阪市教育センター「がんばる先生支援担当」まで提出すること。(研究内容、資料等を添付すること)

グループ(様式3)

平成25年 4月 24日

教育長様

代表者 校園名 大阪市立大池中学校  
校園長名 河野正一 印  
(電話 06-6752-3451 FAX 06-6751-9581)  
申請者 職名・名前 教諭 中川幸治 印  
校園名 大阪市立鶴橋中学校  
(電話 06-6731-6340 FAX 06-6731-2170)



平成25年度「がんばる先生支援」申請書

本研究に対する支援を受けたく、次のとおり申請します。

1 研究コース (基礎・今日的課題)研究コース

※( )内はいずれかに○を記入してください。

2 研究テーマ 「目的意識を持って、自然や科学に対する総合的なものの見方や考え方をはぐくむ理科教育の推進」

サブテーマ 野外観察会や実験講習会等を通して、指導力の向上を図る。

3 研究目的

教師自らが観察や実習の楽しさを実感し、専門的な知識・技能を身につけ、教材の開発や教科指導力の向上を図る。

4 研究内容

- ① 教員自主研修会・土曜研修会(市教委と共催)の実験・実習講習会を通して、それぞれの指導のポイントを習得する。
  - ② 教員自主研修会・土曜研修会(市教委と共催)の野外観察会を通して、それぞれの指導のポイントを習得する。
  - ③ 教員自主研修会の授業実践検討会を通して、それぞれの指導のポイントを習得する。
  - ④ 生徒理科研究発表会で、専門分野の知識・技能を相互に交流し、指導力の向上を図る。
  - ⑤ 野外での実体験で得た知識や教材を、自校での授業実践や校外学習(遠足・泊行事等)での野外観察の指導に活かし、教科指導力の充実を図る。
  - ⑥ 「言語活動の充実を図る実践」の研修会を通して、それぞれの指導のポイントを習得する。
  - ⑦ 授業のICT化に備えてデジタル教材を活用した授業研究を行う。
- ※ 教員自主研修会・土曜研修会(市教委と共催)の対象は、中学校だけでなく小学校と特別支援学校小学部中学部を含む。

5 活動計画(日程)

※研究内容の内容に応じて、2年以上の計画を記入しても可。(但し、支援対象は本年度分のみとする。)

- ① 4月～5月 研究実施計画の検討と専門委員の依頼を行う。
- ② 5月 第1回専門委員会にて専門委員の役割決定と研修会等の日程の決定を行う。
- ③ 7月～ 教員自主研修会・土曜研修会を実施する。
- ④ 7月～9月 各ブロックで研修会・実験講習会を実施する。
- ⑤ 8月 全国中学校理科研究発表会(東京大会)で「言語活動の充実を図る実践」について発表する。
- ⑥ 8月 教員野外研修会(一泊)を実施する。
- ⑦ 9月 生徒理科研究発表会を行う。

⑧10月	発明くふう展に出展・協力する。
⑨10月	大阪府学生科学賞に出展・協力する。
⑩10月	全市教育研究会で研究発表を行う。
⑪10月	大阪市中学校総合文化祭に発表・出展する。
⑫12月	大阪府理科教育研究発表会に発表する。
⑬1月～3月	研究の反省と資料送付と、次年度の研究の検討を行う。
⑭随时	理科部ホームページの更新を行う。
<b>6 見込まれる成果</b>	
①	経験の浅い教員が、実験・実習に対する不安を解消することによって、自信を持って実験・実習・観察を授業で行えるようになる。
②	校外学習(遠足・泊行事等)での野外観察・実習を、自信を持って行えるようになる。
③	授業のICT化を進めることができる。
④	指導力が向上することで、理科室の使用状況の向上につながる。
<b>7 成果の検証方法</b>	
①	理科教員への授業アンケート調査 ・教室での授業か、理科室での授業か。 ・演示実験・観察か、生徒実験・観察か。 ・野外実習・観察を行ったか。
②	理科教員への参加アンケート調査 ・教員自主研修会・土曜研修会・野外観察会・各ブロックでの研修会・実験講習会・ 教員野外研修会(一泊)・生徒理科研究発表会・総合文化祭
<b>8 研究発表の日程・場所(予定も可)</b>	
(日程)	平成25年10月16日 (場所) 未定
※今日的課題研究コースは必ず記入	
<b>9 予定経費額</b>	金 772, 800円

※上記の内容を原則としてA4判2ページで作成する。